

恩送り ～その②～

前号に引き続き、なんとなく考えていることをつぶやかさせていただきます。

『親孝行したいときには親はなし』という言葉もありますが、育ててくれた両親やかつてお世話になった上司や先輩、いつもそばで支えてくれる人への恩返しはできるうちにしたいものです。ですが、振り返ってみると、自分に恩を与えてくれた人、今現在与えてくれる人は、目上の方や自分より人生経験が豊富な方であることが多いのではないのでしょうか。こういった方々に恩返しをしようと思うと、自分が成長したら、と実際にお返しできるまでに時間がかかることも珍しくはありません。お互いの環境が変わり疎遠になったり、お相手によっては、残念ながらこの世を去ってしまったりすることだってあります。それに対して「恩送り」は、時を待たずに、今すぐできる思いやりの受け渡しです。

恩送りの基本とは、自分が優しさを受けてうれしかったことを、別の誰かにもしてあげるというシンプルなものです。見返りを求めることなく、ただ、自分がうれしかったからやる、それだけです。たとえ人に笑われたとしてもやってみようかと決めたときの、その心意気は、実は世の中をよりよいものへ変えていくものなのかもしれません。

人に思いやりを持つことは、その困っている人のためだけではなく、バトンを渡すようにめぐりめぐって自分を幸せにするものだという意味なのです。恩送りは、最近作られた言葉ではなく、江戸時代頃には使われていたという説もあるようです。

恩返し、恩送りはどちらも、日本の文化にも根付いている大切な考え方なのですね。

「情けは人の為ならず」ということわざは御存知かと思いますが、次回はそのことについて書いていこうと思います。



卒業証書授与式 & 6年生を送る会

【卒業証書授与式】

3月18日に実施する「第77回卒業証書授与式」についてお知らせします。今年度の式には、以下の理由で、在校生（5年生以下）は出席しません。

- ①主役である卒業生と保護者様の距離をできるだけ縮める（より近くで見たい。）ため。
- ②在校生の学習時間の確保のため。

とはいえ、5年生には、式典に臨む卒業生の姿から多くのことを感じ取ってほしいという願いもあります。そこで、本番の数日前に実施する「卒業証書授与式 総練習」に参加し、1年間リーダーとして頑張ってきた6年生の後ろ姿に学び、次年度の最高学年としての意識を高めさせたいと考えています。

日時：令和6年3月18日（月）

午前9時30分から

場所：小ヶ倉小体育館



【6年生を送る会】

3月5日に予定している「6年生を送る会」についてお知らせします。

上に書いたように、今年度は在校生（5年生）が卒業式に参加しないため、卒業生と在校生による言葉と心のやり取りが実施できません。

そこで、卒業生の保護者様を対象に、「6年生を送る会」を参観いただけるようにしたいと考えています。6年生にとっては、全校揃っての最後の行事となります。各学年からの出し物やプレゼント、6年生からの出し物、そして校旗の引継ぎ（リーダーのバトンパスの意）が計画されています。お時間の御都合がつかれる方は、御自由に御来校いただき、御参観ください。

日時：令和6年3月5日（火）

午後1時35分から2時40分

場所：小ヶ倉小体育館

おもいで
たくさん
ありがとう

